

第6学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 運動への関心・意欲が高く、すすんで取り組むことができる。
○ 指導された技能を実際に試し、実感を通して身に付けることができる。
- 課題** ▼ 相手意識をもち、協調して運動に取り組むのが苦手な子が多い。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 個人の楽しみや動きだけでなく、見方や相手の楽しみや動きをイメージして運動する力。
- ◇ チームのよさを見いだし、そのよさを生かそうとする工夫。
- ◇ 勝敗を受け入れ、次に向けて改善しようとする意欲。

具体的な改善策

- 協力しなければクリアできない予備的な運動やゲームを取り入れ、自然と協力できる環境を整える。
- 目立たなくても、チームプレイを大切にしている姿をあえて取り上げて称賛し、協力することの大切さや意義を実感させる。
- ゲームごとに成果や反省を話し合わせ、次への課題を明確にさせる。

達成目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。